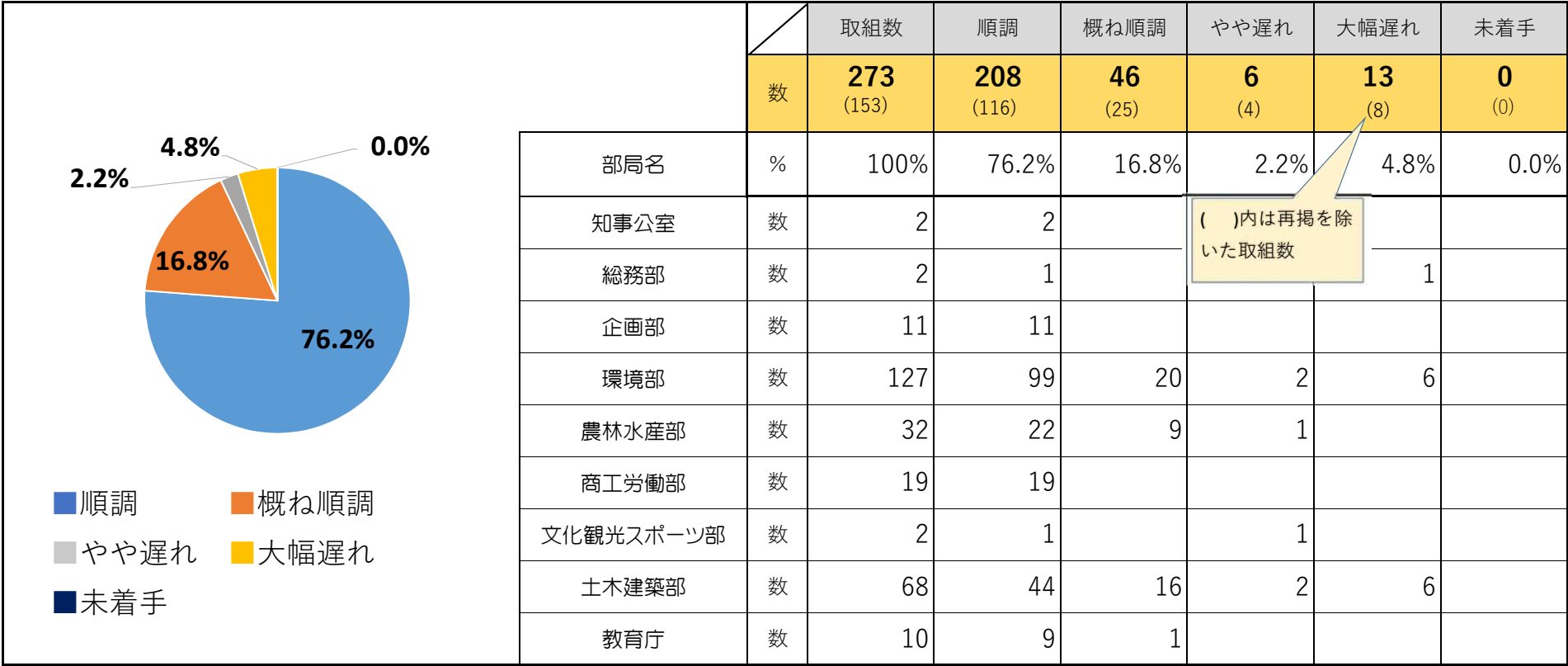
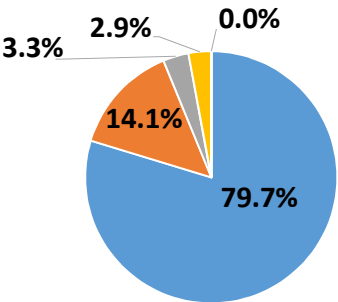


第2次沖縄県環境基本計画
令和元年度 進捗状況総括表

進 捗 状 況	順調	年度別計画に示した工程等のとおり又は前倒しで取り組みを推進している。(90%以上)
	概ね順調	年度別計画と比較して概ね取り組みを推進している。(75%以上～90%未満)
	やや遅れ	年度別計画と比較して若干の遅れがある。(60%以上～75%未満)
	大幅遅れ	年度別計画と比較して大幅に遅れている。(60%未満)
	未着手	年度別計画に示した活動に未着手。



※進捗状況：第2次沖縄県環境基本計画で示した各取組年度別計画の活動指標に対する各年度の活動実績の状況

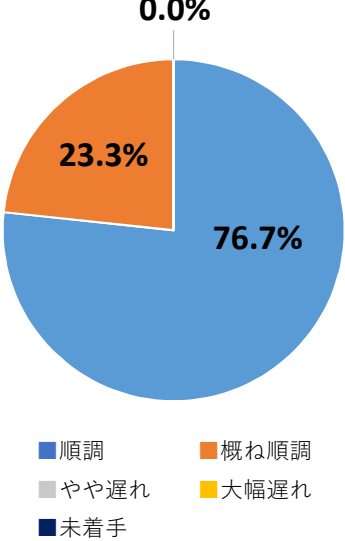


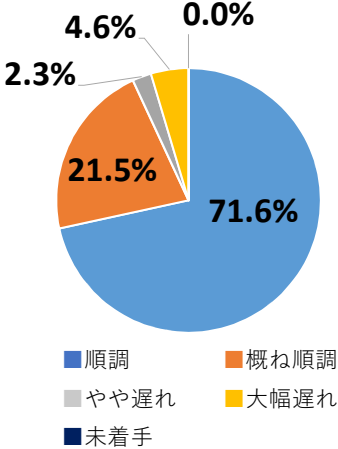
参考：前年度結果						
	取組数	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
数	276 (155)	220 (128)	39 (19)	9 (4)	8 (4)	0 (0)
%	100%	79.7%	14.1%	3.3%	2.9%	0.0%

第2次沖縄県環境基本計画
令和元年度 進捗状況総括表（基本目標別）

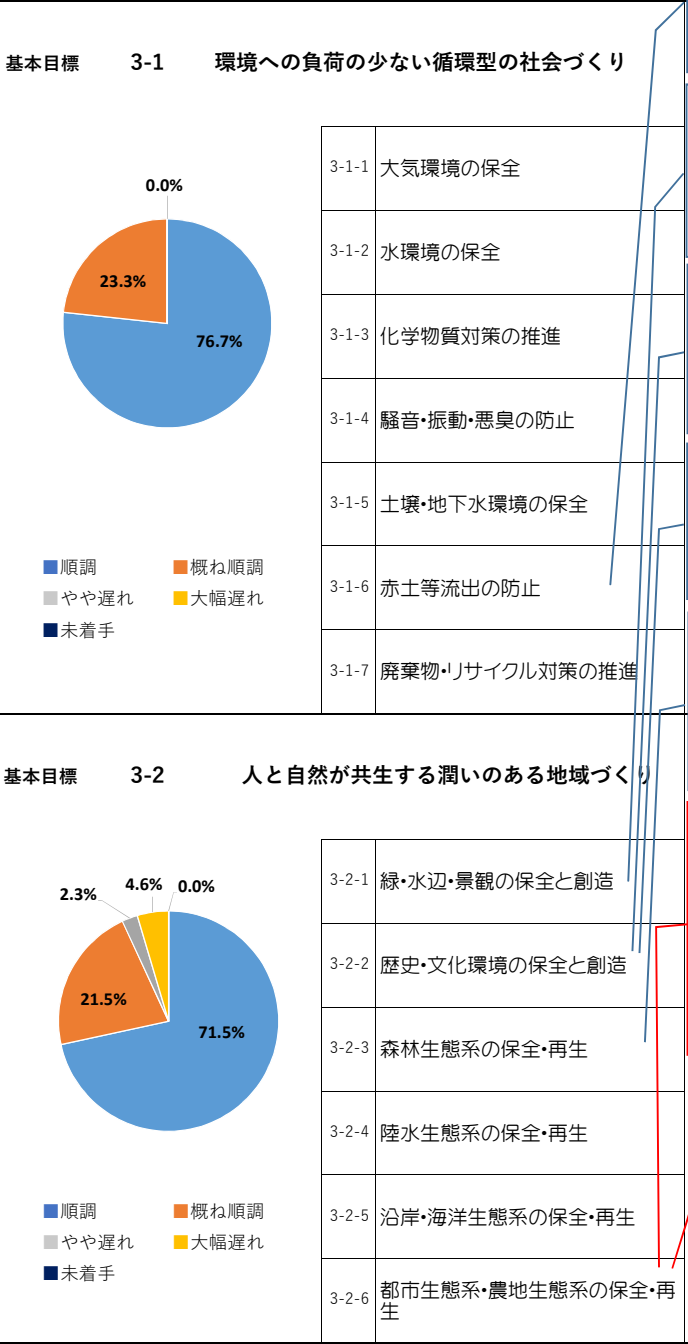
()内は再掲を
除いた取組数

	取組数	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
数	273 (153)	208 (116)	46 (25)	6 (4)	13 (8)	0 (0)
%	100%	76.2%	16.8%	2.2%	4.8%	0.0%

基本目標 3-1 環境への負荷の少ない循環型の社会づくり				取組数	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
			数	43	33	10	0	0	0
			%	100%	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-1	大気環境の保全	数	4	4	0	0	0
			%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-2	水環境の保全	数	8	7	1	0	0
			%	100%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-3	化学物質対策の推進	数	6	5	1	0	0
			%	100%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-4	騒音・振動・悪臭の防止	数	4	4	0	0	0
			%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-5	土壌・地下水環境の保全	数	7	4	3	0	0
			%	100%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-6	赤土等流出の防止	数	5	3	2	0	0
			%	100%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-1-7	廃棄物・リサイクル対策の推進	数	9	6	3	0	0
			%	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

基本目標 3-2 人と自然が共生する潤いのある地域づくり				取組数	順調	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
			数	130	93	28	3	6	0
			%	100%	71.6%	21.5%	2.3%	4.6%	0.0%
		3-2-1	緑・水辺・景観の保全と創造	数	30	21	7	1	1
			%	100%	70.0%	23.4%	3.3%	3.3%	0.0%
		3-2-2	歴史・文化環境の保全と創造	数	11	9	1	0	1
			%	100%	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
		3-2-3	森林生態系の保全・再生	数	23	16	5	1	1
			%	100%	69.6%	21.8%	4.3%	4.3%	0.0%
		3-2-4	陸水生態系の保全・再生	数	20	15	5	0	0
			%	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-2-5	沿岸・海洋生態系の保全・再生	数	16	12	4	0	0
			%	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3-2-6	都市生態系・農地生態系の保全・再生	数	30	20	6	1	3
			%	100%	66.7%	20.0%	3.3%	10.0%	0.0%

令和元年度 進捗状況（基本目標別「主な取組事例」）



「順調」及び「概ね順調」な取組	
No. 32 水質保全対策事業(耕土流出防止型)《農林水産部 農地農村整備課》 進捗状況：【順調】(H30【順調】) 取組の内容：農地およびその周辺の土壌の流出を防止し、農村の環境保全に資する。そのための沈砂池、承排水路等の整備による流出防止対策及び農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面植生等の発生源対策を行う。 活動概要：宜野座村第5地区、他13地区において流出防止対策及び発生源対策の整備を行った。 判定根拠等：赤土流出防止施設(沈砂池等)を整備した結果、農地及びその周辺の土壌の流出を防止し、農村の環境保全の進捗は順調である。	
「順調」及び「概ね順調」な取組	
No. 59 自然環境に配慮した海岸の整備《土木建築部 海岸防災課》 進捗状況：【概ね順調】(H30【順調】) 取組の内容：沖縄らしい豊かな自然環境を取り戻すため、養浜による砂浜の創出、植栽による海浜緑地の創出等、自然環境に配慮した海岸の整備を行う。 活動概要：金武町の金武湾港海岸(ギンノリル地区)において、自然石積み護岸、養浜の整備等により、自然環境に配慮した整備を行った。 判定根拠等：令和元年度までに、計画整備延長約2.3kmに対し、金武湾港海岸(ギンノリル地区)において護岸背後の盛土土砂確保について関係機関との調整に時間を要し進捗が遅れたが、実施整備延長が約2.1kmとなり、概ね順調となった。その結果、自然環境に配慮した海岸の整備が行われ、一部の区間については、砂浜の創出が図られた。	
「順調」及び「概ね順調」な取組	
No. 81 琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業《総務部 総務私学課》 進捗状況：【順調】(H30【順調】) 取組の内容：琉球政府文書等の貴重な資料を適切に保存するため、資料のマイクロ撮影、資料のデジタル化及び修復を行うとともに、デジタル化を行った資料については、インターネットで公開し、広く県民等の利用に供する。 活動概要：琉球政府文書11,016簿冊のデジタル化を行い、劣化資料には紙力強化など必要な修復措置を行った。また、デジタル化した資料については、書誌情報の登録及び個人情報等保護措置を行い、18,497簿冊をインターネットで公開した。 判定根拠等：琉球政府文書のデジタル撮影については計画値を達成し、さらに、インターネットでの公開数についても順調に取り組みを推進した。	
「順調」及び「概ね順調」な取組	
No. 83 基地内埋蔵文化財分布調査《教育庁 文化財課》 進捗状況：【順調】(H30【大幅遅れ】) 取組の内容：駐留軍用地跡地の利用に伴う埋蔵文化財に関する調査に取り組む。 活動概要：令和元年度は、在日米軍・沖縄防衛局との間に文化財調査を目的とする返還前の立入に関する現地協定を締結し、在沖米軍及び沖縄防衛局との事前調整を経て、普天間飛行場内で確認調査を実施した。 判定根拠等：平成31年2月に在日米軍・沖縄防衛局との間に現地協定を締結した。さらに調査計画書、普天間飛行場内入域パス、仮設事務所設置許可、動植物調査及びその影響についての報告・承認、掘削許可といった事前調整を経て、11月8日から3月19日まで現地において確認調査を実施した。	
「順調」及び「概ね順調」な取組	
No. 106 環境共生型観光推進事業《文化観光スポーツ部 観光振興課》 進捗状況：【順調】(H30【順調】) 取組の内容：環境共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取り組みを支援することにより、沖縄観光の持続的な発展を図る。具体的には、地域におけるルール周知や人材育成、環境共生型観光施設の整備への支援を図る。 活動概要：エコツーリズムプラットフォーム推進事業において、今後県が推進すべき持続可能な観光と推進する団体についてのあり方検討会を実施した。また人材育成やエコツーリズムの普及促進を目的としたシンポジウムを実施した。 判定根拠等：環境保全活動支援として、NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会の活動支援を行った。またプロモーション支援として、持続可能な観光(サスティナブル・ツーリズム)に関する国内外の情勢や諸課題などをテーマとしたシンポジウムを開催するなど、自然環境に配慮した持続可能な観光を推進した。	
「今後、一層の取組が必要と考えられる取組」	
No. 146 耕作放棄地対策事業《農林水産部 村づくり計画課》 進捗状況：【やや遅れ】(H30【概ね順調】) 取組の内容：農地の確保及びその有効利用を図るため、荒廃した耕作放棄地を引き受けて作物生産を再開する農家・生産者組織、法人等が行う再生作業や土づくりの取組を支援する。 活動概要：荒廃農地の再生作業の取組を支援し、農地の確保及び有効利用を図った。 判定根拠等：耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した再生作業等の取組により、平成30年度末までに347haの耕作放棄地を解消した。令和元年度からは、県単独事業により再生作業を行い、2.6haの耕作放棄地を解消した。R元までの解消率計画値66%に対し、実績値は50%であった。 推進上の留意点：令和元年度から対応事業が変わったため、取り組みが滞らないように注意する必要がある。また、農地が耕作放棄地となっても他人に貸したがない、または不在地主や未相続の農地となっているなど地主の態様により様々な課題が存在している。 取組の改善案：事業内容が変わったため、関係各課、市町村、農地中間管理機構と情報を共有し、耕作放棄地の解消を推進する。また、事業の対象を担い手とすることで、事業を活用して担い手に農地を集積できるようにする。	
「今後、一層の取組が必要と考えられる取組」	
No. 157 エネルギー多消費型事業者のLNG転換普及事業(低炭素島しょ社会実現に向けた地球温暖化防止対策等事業)《環境部 環境再生課》 進捗状況：【大幅遅れ】(H30【やや遅れ】) 取組の内容：重油等からよりクリーンなエネルギーのLNG(液化天然ガス)へ転換するために、事業者等に対してLNGサテライト設備の設置費用を補助する。 活動概要：低炭素島しょ社会の実現と産業振興を図るため、他の化石燃料と比較して、よりクリーンかつ安全、低コストなエネルギーであるLNG(液化天然ガス)の県内への普及に取り組んだ。 判定根拠等：環境性の高いLNG(液化天然ガス)燃料転換への補助件数については、計画値3施設に対し、1施設の実績となったものの、本県において温室効果ガスの削減を推進するため、産業・民生部門における取組を強化し、目標達成に向け、効果的・効率的な地球温暖化対策に取り組んでいる。 推進上の留意点：LNGサテライトの設置は初期費用が大きく、総額で1億円を超える投資となるため、機器更新のタイミングのほか、社会情勢や経営陣の判断もかなり影響してくる。 取組の改善案：多くの事業者がエネルギー転換を図るために、他の化石燃料と比較してよりクリーンかつ安全、低コストなエネルギーであるLNGのメリットを広報するとともに、可能な限り公募時期を早めることで、多くの事業者が引き続きエネルギー転換を検討できる期間を幅広に設定する。	

<div>基本目標3-3環境保全活動への積極的な参加</div> <div></div>	3-3-1	環境教育・環境学習の推進	<div>「今後、一層の取組が必要と考えられる取組」</div> <div>No. 179 ちゅら島環境美化促進事業《環境部 環境整備課》 進捗状況：【大幅遅れ】（H30【概ね順調】）</div> <div>取組の内容：空き缶や吸い殻等の散乱を防止し環境美化の促進を図ることを目的とし、県内各地の道路、公園、観光地、海岸を対象として、夏季の行楽シーズン、12月の年末大清掃の時期に合わせて、県民、事業者、団体等の参加を得て環境美化活動を実施する。</div> <div>活動概要：県内各地の道路、公園、観光地、海岸等を対象として、夏季の行楽シーズン、年末大清掃の時期に、県民、事業者、団体等の参加を得て全県一斉清掃を実施した。新聞広告を実施するほか、全県一斉清掃の実績を取りまとめ、県ホームページ等で公表し、県民の意識向上を図った。</div> <div>判定根拠等：清掃活動及び新聞広告等の普及啓発活動により、公共の場に散乱する空き缶・たばこの吸い殻等が除去されたほか、県民の環境美化に対する意識向上が図れたが、一斉清掃の周知不足等が要因で、一斉清掃参加人数は計画値9.1万人に対し、実績値5.2万人と3.9万人下回った。</div> <div>推進上の留意点：清掃活動の周知が行き届いていない可能性や、清掃活動は天候に左右されるため、参加人数が変動することがある。また、将来の沖縄の環境美化を担う子供たちに美化活動の意識が十分根付いていない。</div> <div>取組の改善案：ホームページの掲載内容の充実を図り、また、環境美化活動を根付かせていくために、引き続き小学生を中心とした環境美化教育の推進を図る。</div>
	3-3-2	自主的な環境保全活動の促進	
	3-3-3	普及・啓発活動の推進	
<div>基本目標3-4地球環境の保全に貢献する社会づくり</div> <div></div>	3-4-1	地球温暖化対策の推進	<div>「順調」及び「概ね順調」な取組</div> <div>No. 196 公共交通利用環境改善事業《企画部 交通政策課》 進捗状況：【順調】（H30【順調】）</div> <div>取組の内容：県民や観光客の移動利便性の向上、高齢者や障がい者などのいわゆる交通弱者の移動の確保、中南部都市圏の交通渋滞緩和、低炭素社会の実現を図ることを目的に、公共交通の利用環境改善に取り組む。</div> <div>活動概要：ノンステップバス3台、多言語案内車内表示器30台導入、バス停留所標識改良6ヶ所（上屋5ヶ所を含む）、バスレーン拡充調査検討業務、広報活動等を実施した。</div> <div>判定根拠等：ノンステップバスについて、沖縄県の導入支援で3台導入し、これまでの累計で222台の計画に対し218台を導入しており、概ね計画通り進捗している。さらに、交通弱者を含む全ての利用者の乗降性に優れるノンステップバスの導入により、全ての人が利用しやすい公共交通の環境づくりに寄与している。</div>
	3-4-2	その他の地球環境問題への取組の推進	
<div>基本目標3-5環境と経済が調和する社会づくり</div> <div></div>	3-5-1	理念の普及・推進体制の構築	<div>「今後、一層の取組が必要と考えられる取組」</div> <div>No. 261 建設リサイクル資材認定制度（ゆいくる）活用事業《土木建築部 技術建設業課》 進捗状況：【やや遅れ】（H30【概ね順調】）</div> <div>取組の内容：環境関連産業の安定的な需要を確保するため、沖縄県技術・建設業課のH P等でゆいくる材の認定資材の状況を公開し、関係者を対象とした研修会や県民環境フェアでのパネル展示等で同制度の普及を図り、公共事業におけるゆいくる材の積極的な利用を促進する。</div> <div>活動概要：建設リサイクル資材製造業者からの申請を受け、審査を実施、評価委員会を開催し、新たに12資材を認定した。また、同制度の普及を図った。</div> <div>判定根拠等：建設資材廃棄物（コンクリート殻、アスファルト殻）の再資源化率はほぼ100%で改善の余地は少ないが、県、市町村関係者へ、ゆいくる材の原料確保のため、建設廃棄物を現場から搬出する際の再資源化施設の選定について、県・市町村公共工事発注者に対し、設計積算等説明会を実施（1回）、周知を図ったが、大型需要があり、ゆいくる材の利用率は計画値を下回った。</div> <div>推進上の留意点：県内で発生した廃棄物の有効活用が図られており、取組の効果が現れているが、一部のゆいくる材については製品の販売不振や製造工場の本土移設などの理由により、令和元年度は製造業者5者から路盤材など28資材の認定廃止届があった。建設資材廃棄物のより一層の循環的利用の取り組みを推進するため、ゆいくる材の原料確保に向けた取り組みが必要である。</div> <div>取組の改善案：建設資材廃棄物（コンクリート殻、アスファルト殻）の再資源化率は約99%を達成しており、ほぼ全量がリサイクルされている状況であることから、目標を達成しているが、県、市町村関係者へ、ゆいくる材の原料確保のため、建設廃棄物を現場から搬出する際の再資源化施設の選定について、公共工事発注者に対し説明を行い周知を図る。</div>
	3-5-2	環境に配慮した事業者の育成・拡大	
	3-5-3	環境に配慮した産業の創出・育成	
<div>基本目標3-6</div> <div></div>	3-6-1	環境保全のための共通の・基盤的施策	<div>「順調」及び「概ね順調」な取組</div> <div>No. 265 環境影響評価審査調整事業《環境部 環境政策課》 進捗状況：【順調】（H30【順調】）</div> <div>取組の内容：環境影響評価法及び沖縄県環境影響評価条例に基づき、事業の実施前に事業者が作成する環境影響評価図書や、実施した環境保全措置の効果について事業者の着手後において検証するため等に行う事後調査の報告書に対して、知事が環境保全の見地から意見を述べるにあたり、図書及び報告書の審査を行う。</div> <div>活動概要：令和元年度に提出された環境影響評価図書及び事後調査報告書計19件について審査指導を行った。その結果を全国知事会議や各種シンポジウム等で報告した。</div> <div>判定根拠等：事業者より提出された環境影響評価図書及び事後調査報告書について、適切に環境に配慮した事業となるよう審査を行い、沖縄県環境影響評価審査会からの答申を踏まえ、環境保全の見地からの意見及び環境保全措置要求を行った。</div>
<div>基本目標3-7</div> <div></div>	3-7-1	基地関連公害の防止	<div>「順調」及び「概ね順調」な取組</div> <div>No. 273 国民的議論の喚起《知事公室 基地対策課》 進捗状況：【順調】（H30【順調】）</div> <div>取組の内容：全国知事会、渉外知事会、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会と連携し、あらゆる機会を通じて、日本政府に対し沖縄の基地負担の現状を訴えていく。</div> <div>活動概要：渉外知事会、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会（軍転協）と連携し、日本政府に対し沖縄の基地負担の現状を訴えてきた。また、他国地位協定調査をオーストラリア、フィリピンで実施し、その結果を全国知事会議や各種シンポジウム等で報告した。</div> <div>判定根拠等：これまで、沖縄県が全国知事会、渉外知事会との連携強化や他国地位協定調査に取り組んできた結果、平成30年7月の全国知事会議において、日米地位協定の抜本的な見直しをはじめとする提言が初めて取りまとめられた。それをきっかけとして、全国の地方議会においても日米地位協定の改定を求める主旨の意見書が多数可決されるなど、全国に理解が広がりがつつある。</div>